2　資金不足額解消の状況

（単位：千円）

区分＼年度	計画初年度の前年度	計画初年度（平成21年度）	平成22年度（第２年度）	平成23年度（第３年度）	平成24年度（第４年度）	最終年度（平成25年度）
当初計画　A		△　1,361	151,321	159,736	150,557	141,673
解消実績額　B		43,042	183,103	172,785	132,170	—
現在計画　C		43,042	183,103	172,785	132,170	141,673
B－A又はC－A		44,403	31,782	13,049	△　18,387	0
資金不足額	659,057	616,015	432,912	260,127	127,957	—

備考

1　「現在計画　C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3　資金不足比率の状況

（単位：％）

資金不足比率＼年度	計画初年度の前年度	計画初年度（平成21年度）		平成22年度（第２年度）		平成23年度（第３年度）		平成24年度（第４年度）		最終年度（平成25年度）
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	101.0	103.8	95.0	77.6	64.4	51.6	39.3	29.5	19.6	8.5

4　その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

・計画内容を市民に広く周知するため、市及び交通局のホームページに経営健全化計画を掲載するとともに、市の広報誌に実施状況の概要を掲載

熊本県熊本市　交通事業会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1　計画と具体的な措置の状況

・バス事業の移譲

H24年４月に、帯山線、島崎保田窪線、熊本駅県庁線、熊本駅長嶺線を移譲

・利用促進に向けた取り組み

市立体育館前電停のバリアフリー化工事、花畑町電停～熊本城市役所前電停間における軌道敷緑化工事の実施　など

・経営の合理化

職員数を204人から168人へ削減、電車惰行運転の励行等による電車電力使用量の削減、デジタルタコグラフの活用による燃費向上　など

・経営基盤の強化

バス事業の移譲先へバス車両等の売却、上屋付電停への広告枠の増設　など

2　資金不足額解消の状況

（単位：千円）

区分＼年度	計画初年度の前年度	平成21年度（計画初年度）	平成22年度（第２年度）	平成23年度（第３年度）	平成24年度（第４年度）	平成25年度（第５年度）	平成26年度（第６年度）	平成27年度（第７年度）
当初計画　A		542,387	652,455	324,332	397,724	925,474	521,972	1,728,973
解消実績額　B		608,409	747,002	717,606	467,599	—	—	—
現在計画　C		—	—	—	467,599	925,474	521,972	1,728,973
B－A又はC－A		66,022	94,547	393,274	69,875	—	—	—
資金不足額	5,533,795	4,925,386	4,178,384	3,460,778	2,993,179	2,067,705	1,545,733	—

備考　「現在計画　C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。